

## 将来へ向かって羽ばたけ

### 匝瑳市成人式

平成21年匝瑳市成人式が1月11日、市民ふれあいセンターで開催されました。

今回成人を迎えるのは、昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた486人で、当日は404名が出席しました。



厳肅な雰囲気の中に進められた式典

華やかな着物やはかま、スーツで着飾った新成人たちは、久しぶりの仲間との再会を喜び合いました。(＝上の写真)

川口達矢さん(平和)と都祭祐季さん(椿海)の司会で進められた式典は、実行委員長の伊藤佑太さん(共興)の開式の言葉で始まり、続いて大木美里さん(栄)の指揮と八木梓さん(豊和)の伴奏で国歌斉唱が行われました。続いて江波戸市長の式辞、来賓の方々の祝辞のあと、市からの記念品であるアルバムが熱田貴亮さん(野田)に手渡されました。意見発表は若梅健太さん(椿海) 鶴澤亜紗実さん(豊栄) 林成美さん(野田)の3人、謝辞は伊橋史祥さん(野田)が述べ、最後に副実行委員長の松葉奈緒美さん(八日市場)の閉式の言葉で式典は終了しました。



「人との出会いは私を成長させてくれました。これからも出合いを大切にしたいです。」(林さん) ▲



「家族や友達の支えのおかげで今の自分があります。感謝の気持ちでいっぱいです。」(鶴澤さん) ▲



「この20年、親に心配を掛けてきました。言葉では伝えきれないほど感謝しています。」(若梅さん) ▲

#### 意見発表

## 初日の出を浴びながら

### 踊る阿呆2009

吉崎浜で1月1日早朝、初日の出とともによさこいを舞う「踊る阿呆2009」が行われました。今年は全国から10チームが集結。地元「楽天舞」との交流を深めました。各チームが自慢の舞いを披露すると、他チームのメンバーや観客から拍手が起こっていました。



楽天舞によるよさこいソーラン

#### 桜の手入れを行う青年部員



八日市場植木組合青年部が12月21日、ボランティア活動の一環として、市民病院前の桜の手入れを行いました。同病院の3本の桜は「てんぐ巢病」に感染し、そのままでは花が咲かない状態になっていました。

朝から始まった作業には青年部員8人が参加。てきぱきとした作業であったという間に病気の枝を切り落とし、傷口には薬剤を塗布しました。作業を終えた青年部長の滝田孝蔵さんは「私たちが木の医者となって桜の病を治し、元気になった桜を見た入院患者の皆さんが、一日も早く元気になってもらえれば」と笑顔で語りました。

#### 八日市場植木組合ボランティア活動

#### 桜の病を治す医者たち



## ハードコートで世界を目指す

### 「チーム YONEZAWA」テニス合宿



豪快なショットを放つジュニアたち(左が米沢徹コーチ)

若干19歳、プロテニス界で大活躍の錦織圭選手。この錦織選手を育てた米沢徹コーチが「チーム YONEZAWA」を昨年の4月に発足させ、世界に通用する次の錦織圭を育成すべく活動しています。その一環として1月10日から3日間、全国からプロを志す33人(8~13歳の男女)が参加したテニス合宿が吉崎浜野外活動施設で行われました。「チーム YONEZAWA」では、世界の主流にならないハードコートでの合宿を希望していたことから、本施設が選ばれました。今後も年数回の合宿が予定され、プロを目指すジュニアの重要な基地になりつつあります。

大会前の札幌にて、伊藤さん(左)と関さん(右)



### 選抜チームに本市から2名 千葉ロッテマリーンズジュニア

日本野球機構12球団ジュニアトーナメントが12月26日から28日にかけて札幌ドームで開催されました。地元の千葉ロッテマリーンズジュニアチームは、県内の少年野球チームから選抜された18人で結成され、本市から関泰成さん(須賀スポーツ少年団)と伊藤大輝さん(千潮スポーツ少年団)の2名がメンバー入り。得失点差で惜しくも決勝トーナメント進出は逃したものの、全国から集まった精鋭たちとレベルの高い戦いを繰り広げました。

## 悪魔をはらい家内安全を祈願

### 仁組獅子舞

栄地区栢田で1月8日、仁組獅子舞が行われました。これは、獅子が集落内の各家庭で悪魔はらいをし、五穀豊穡・無病息災を祈る伝統行事です。当日は20数軒の家に獅子が上がリ、華麗な舞いを披露。

訪問を受けた家庭の人たちは、自分の体を獅子に触れてもらうなど、新年の幸せを願っていました。



各家庭で悪魔はらいをする獅子舞

## 水ごりで無病息災祈る

### 小高の裸参り



厳寒の中、何度も水ごりを取る

真冬の奇祭として有名な「裸参り」が1月11日深夜、飯高地区小高の八坂神社で行われました。午後10時半、寒さで足元が凍りつく中、真っ白な下帯に白足袋姿の男衆約30人が妙長寺の門前に登場。大勢の見物人やカメラマンが見守る中、「オイサ、オイサ」の掛け声に合わせて、水槽にくみ置かれた冷水を、手桶で頭から豪快にかぶりました。身を清めた男衆は、約500m離れた八坂神社まで走り、無病息災・家内安全・五穀豊穡を祈願しました。

## 今年の吉凶を占う

### 松山神社で筒粥神事



青竹を割って中を確認

匝瑳地区の松山神社で1月15日、筒粥神事が行われました。これは、約350年も前から続く伝統行事で、作物などの名称が書かれた青竹49本と粥と一緒に煮込み、青竹に詰まった粥の量でその年の吉凶を占うというものです。占いの結果はまずまずで、今年も平穩無事に過ごせそうとのこと。特に牛蒡や甘藷の栽培に幸運があるそうです。